

感謝状

株式会社クラダシ 様

貴社は当社団がすすめる相互扶助の社会づくり・社会福祉及び資源・環境保全の増進のために寄付(22,390円)をされ、当社団の公益目的事業推進に多大なご貢献を賜りました。

よってここにそのご厚意に対し深く感謝の意を表します

2020年10月30日

公益社団法人フードバンクかながわ

代表理事 當具伸一


代表理事 吉坂義正




フードバンクかながわ 学習資料

もったいない を
～分かち合い～
ありがとう へ

2020年12月18日

公益社団法人フードバンクかながわ

事務局長 藤田 誠



ホームページ

<https://www.fb-kanagawa.com>



フードバンクかながわ設立経緯

- 2015年 9月 マイクロクレジット・フードバンク研究会
- 2016年11月 フードバンク検討会
- 2017年 4月 フードバンク設立準備会
- 2018年 2月 一般社団法人フードバンクかながわ設立
- 2018年 4月 事業運営開始
- 2018年10月 公益社団法人となる

【構成団体】

かながわ勤労者ボランティアネットワーク
神奈川県生活協同組合連合会
神奈川県農業協同組合中央会
神奈川県労働者福祉協議会
公益財団法人かながわ生き活き市民基金
公益財団法人横浜YMCA

生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコーポ
生活協同組合ユーコープ
生活クラブ生活協同組合
こくみん共済 COOP 神奈川
中央労金神奈川県本部
(特非)参加型システム研究所



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を

《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かれ合い」～

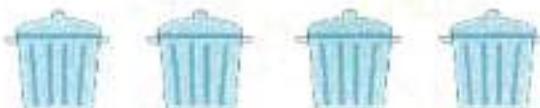
《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ

《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》



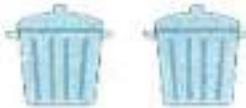
日本の「食品ロス」
約612万トン



事業系
約328万トン



家庭系
約284万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約132g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約48kg

※ 年間1人当たりの米の消費量
(約54kg) に相当



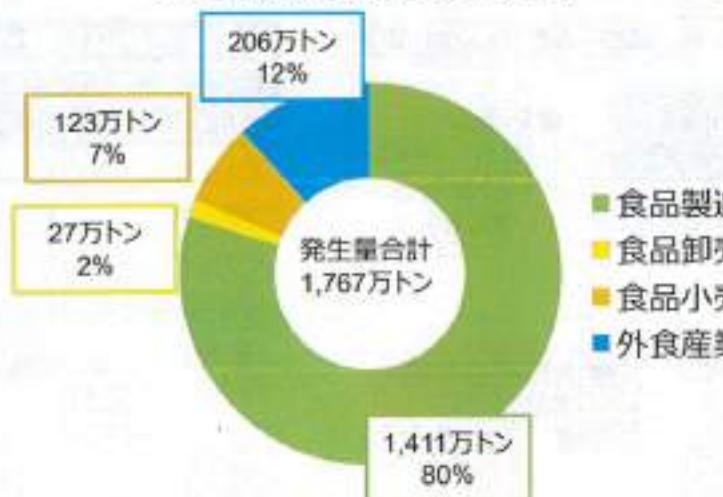
資料：総務省人口推計(平成29年10月1日)
平成29年度食料需給表（確定値）



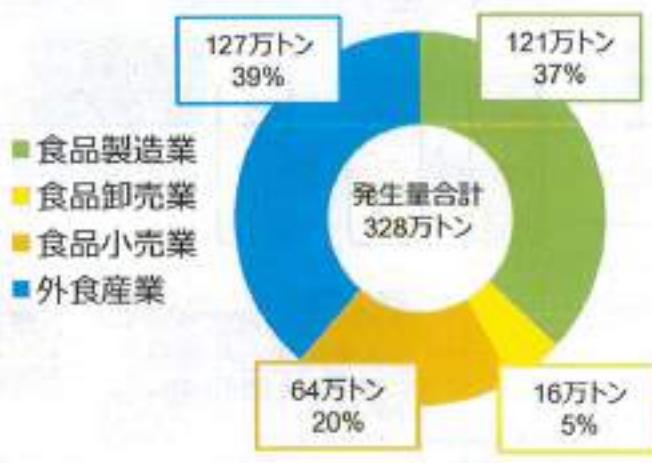
事業系の食品廃棄物等と食品ロスの発生量（平成29年度推計）

- ✓ 食品廃棄物等の発生量は、平成29年度で1,767万トンとなっており、このうち食品製造業が80%を占めている。
- ✓ 可食部の食品廃棄物等の発生量は328万トンとなっており、このうち外食産業が39%、食品製造業が37%を占め大部分となっている。

①事業系食品廃棄物の業種別内訳



②事業系食品ロス（可食部）の業種別内訳



5

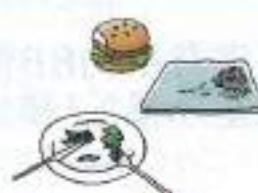
事業系【外食産業・製造業・卸売業・小売業】の食品ロスの例



売れ残り
店舗で売れ残ったもの



仕込みすぎ
飲食店で仕込みすぎた料理



食べ残し
飲食店で客が食べ残したもの



納品期限切れ

欠品を防ぐために多く仕入れた商品のうち、期限切れなどで販売できなくなったり、企業の商習慣(1/3ルール)など。



破損品

輸送過程で中身は何ともなくとも、外箱が破損したり汚れて販売できなくなったりする。



規格外品

製造過程での印字ミス(賞味期限、消費期限など)や型くずれ等により販売できなくなったりする。



製造や加工工程での調理くず

製造過程で食べやすい大きさや容器に入る重量に原料をカットする等で必然的に廃棄される食品



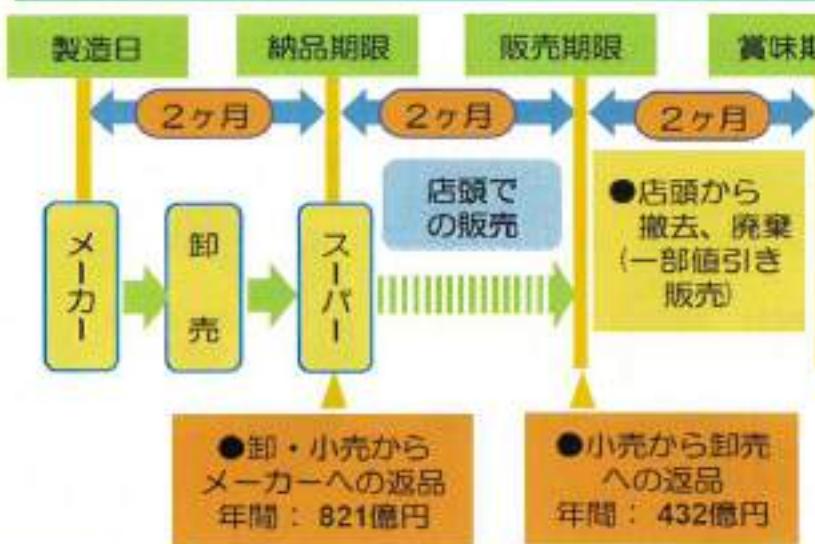
●食品製造業、卸売業、小売業での食品ロス②

食品ロス問題

- 小売店などが設定するメーカーからの納品期限及び店頭での販売期限は、製造日から賞味期限までの期間を概ね3等分して商慣習として設定される場合が多く（いわゆる3分の1ルール）、食品ロス発生のひとつの要因とされている。

いわゆる3分の1ルールによる期限設定の概念図（賞味期限6ヶ月の場合）

1/3という
商習慣
食べられる
のに捨て
られる



●歐米の納品期限	
国	納品期限 (賞味期限ベース)
アメリカ	1/2残し
フランス	1/3残し
イタリア	1/3残し
ベルギー	1/3残し
(参考) 日本	2/3残しが平均

資料：厚生労働省による平成20年度の粗計結果

7

神奈川県内の家庭から出される食品ロス（2018年）

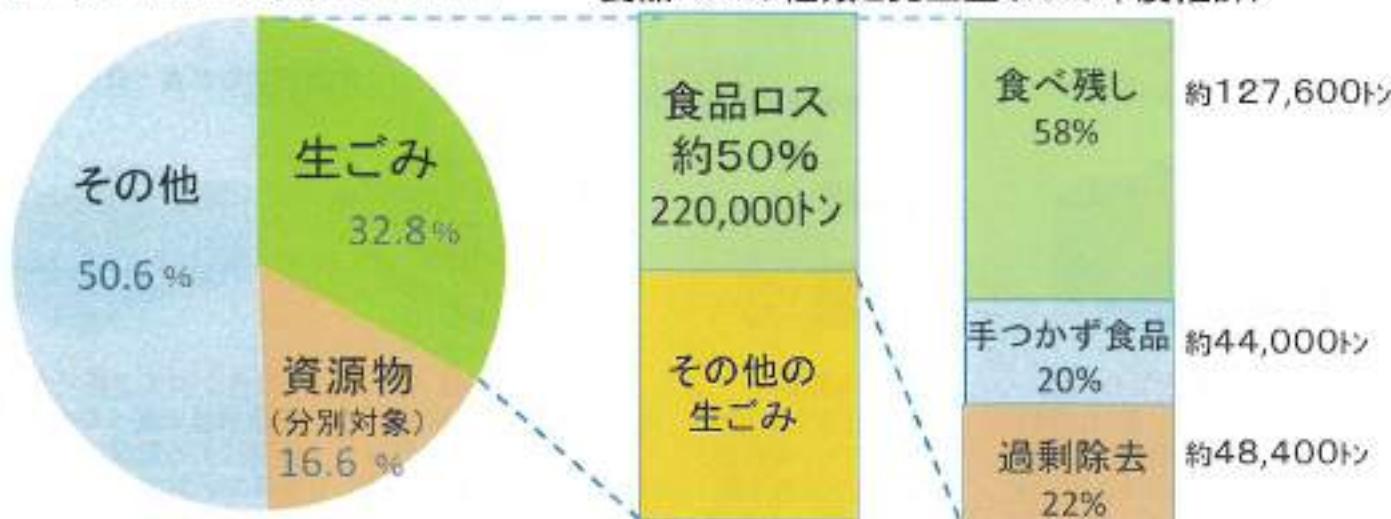
食品ロス発生量=220,000トン/年

◆処理費用約88億4800万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO₂)=約53,592トン(1t当たり243.6kg)

燃やすごみの組成調査結果(2018年)

食品ロスの種類と発生量(2018年度推計)



神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

8

神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・CO₂排出量

- ◆処理費用約88億4800万円(1t当たり40217円)
- ◆温室効果ガス排出量(CO₂)=約53,592トン(1t当たり243.6kg)



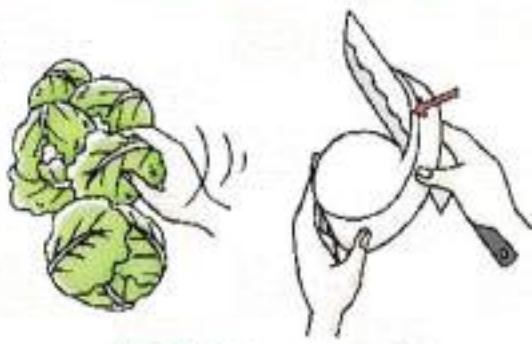
食べ残し 127,600トン

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・ちょっと残し等



手つかず 44,000トン

調理されず、何も手がつけられずに廃棄される食品



過剰除去 48,400トン

野菜や果物の皮を厚くむきすぎたり、取り除きすぎたもの

◆処理費=51.3億円/年

●CO₂=31,083トン

◆処理費=17.7億円/年

●CO₂=10,718トン

◆処理費=19.5億円/年

●CO₂=11,790トン

神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

9

食品ロス削減推進法のポイント

政府や自治体の施策

- ▶ 政府が食品ロス削減の基本方針を策定
- ▶ 基本方針を踏まえ、都道府県と市町村が削減推進計画を策定し、対策を実施
- ▶ 消費者や事業者に対する普及啓発
- ▶ 食品ロス削減の功績者を表彰
- ▶ フードバンクの活動を支援



の事業者の責務

- ▶ 政府や自治体に協力し、削減へ積極的に取り組む



の消費者の役割

- ▶ 食品の購入や調理方法を改善するなど自主的に取り組む



10

☆3010（さんまる いちまる）運動

農林水産省
食料産業局

- ✓ 宴会時において、約7皿に1皿相当が食べ残されている状況。
- ✓ 3010運動は、宴会時に「食べきりタイム」を設け、食品ロスを減らす取組。
- ✓ 長野県松本市で平成23年5月から始まり、多数の自治体に広がっている。



宴会での食べ残しを減らす運動です

乾杯後 30 分間 は席を立たずに料理を楽しみましょう

お開き 10 分前 になつたら席に戻って料理を楽しみましょう

京都市の調査によれば、宴会で「幹事からの声かけ」や「卓上POPの設置」の取組を行った場合、取組なしにくらべて、食べ残し量が約4分の1に。
(調査対象数が少ないため一般化はできないことに留意)

【地方自治体の取組（松本市、佐賀市）】



【3010運動テーブルトップ（環境省・農林水産省）】



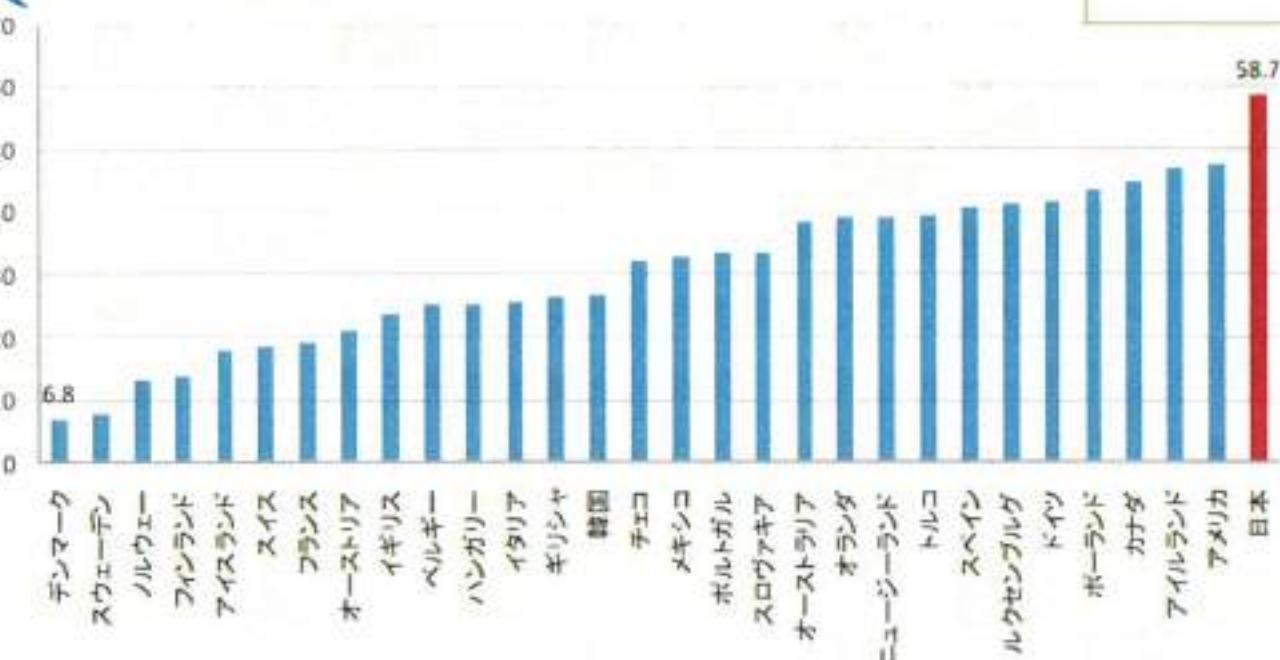
資料：第80回地方都市廃棄物減量等推進審議会（平成29年3月20日）

11



子どもがいる現役世帯で大人が1人の世帯の貧困率

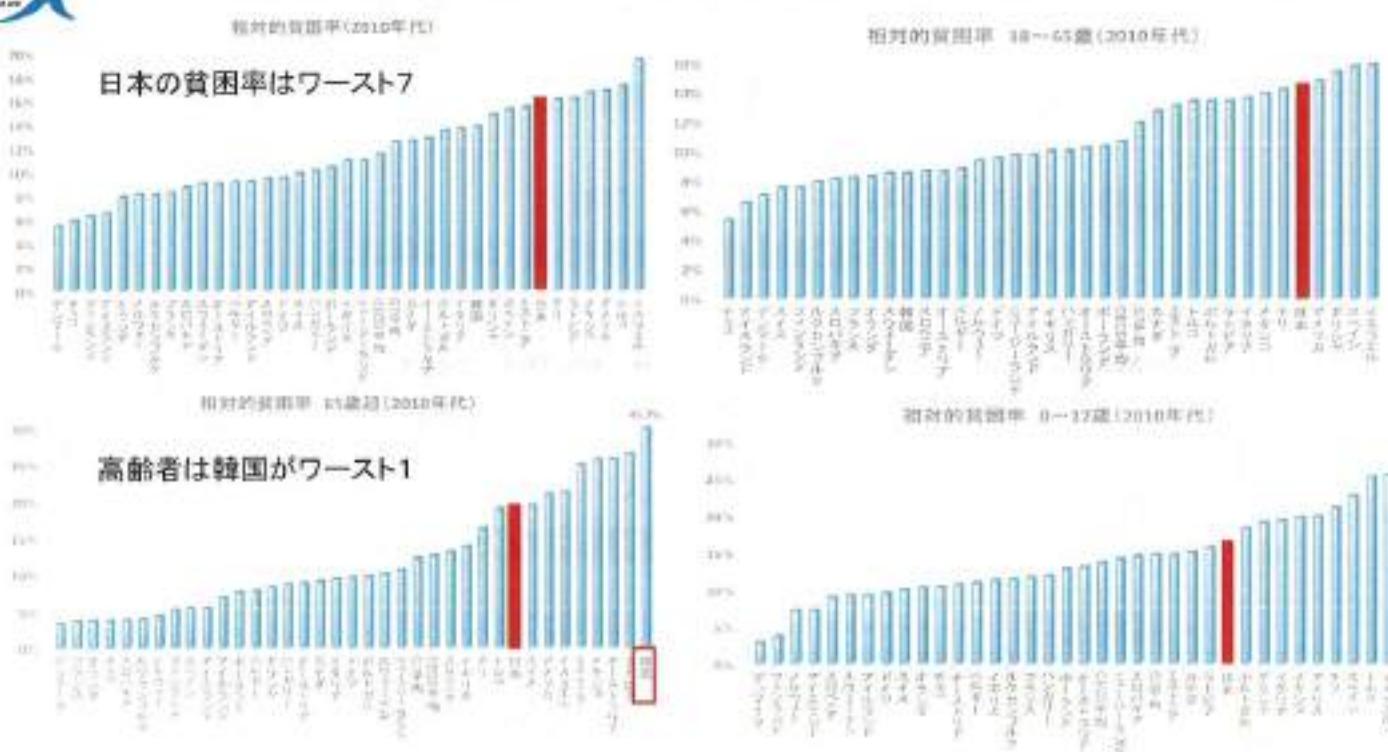
貧困問題



12



相対的貧困率の国際比較 (対象: OECD加盟34か国)



13



貧困の現状

貧困問題

【日本の貧困率】※2019年国民生活基礎調査(OECD基準)

- ・相対的貧困率 15.8%
 - ・子どもの貧困率 14.0%
 - ・子どもがいる現役世帯のうち
　　大人が一人の貧困率 48.2%
- ※OECD(経済協力開発機構)加盟国中、最下位
- ・貧困線 122万円(可処分所得)

14



【神奈川県の現状】※2015年国勢調査等 (人口のみ2020年9月)

貧困問題

- ひとり親世帯数 33万世帯(約88万人)
- 神奈川県の貧困率 16.7%
※山形大学戸室准教授2016年報告(2012年度)
- 神奈川県の最低生活費 145.6万円(1人)
※全国で最も高い(東京143.7万、山梨95.8万)
- 人口 921.6万人
※横浜376万、川崎154万、相模原72万、清川村3千
- 高齢化率 24.5%(全国27.4%)
※川崎市中原区15.2%、三浦市37.0%、湯河原町40.6%

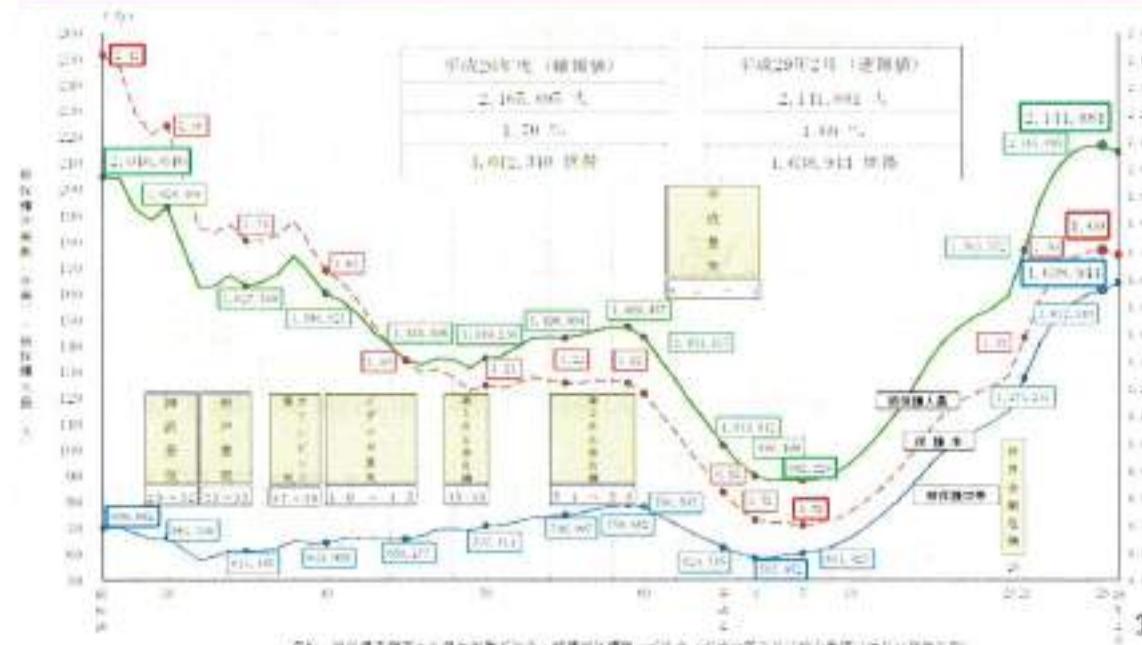
15



貧困問題

被保護世帯数、被保護人員、保護率の年次推移

○生活保護受給者数は約214万人、平成27年3月をピークに減少に転じた。
○生活保護受給世帯数は約164万世帯。高齢者世帯の増加により、世帯全体は増加しているが、高齢者世帯以外の世帯については減少傾向が続いている。



生活保護を利用する収入で、利用している世帯は?

ドイツ: 65%
スウェーデン: 82%
フランス: 90%
日本18%
⇒低収入でも支援を受けていない家庭が多い。

16



生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）について

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保付金の支給その他の支援を行うための所要の措置を講ずる。

格差の広がり・困窮者の増加に対し、
2015年自立支援法
ができ、自治体の窓口が相談対応

自立に向けて必要な人に食料を支援する必要が出てきた

その食料はどこからだれが調達するのか

法律の概要

1. 自立相談支援事業の実施及び住居確保付金の支給（必須事業）

- 福祉事務所設置自治体は、「自立相談支援事業」（就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等）を実施する。
※ 自治体直営のほか、社会福祉協議会や社会福祉法人、NPO等への委託も可能（他の事業も同様）。
- 福祉事務所設置自治体は、難癖により住宅を失った生活困窮者等に対し家賃相当の「住居確保付金」（有期）を支給する。

2. 就労準備支援事業、一時生活支援事業及び家計相談支援事業等の実施（任意事業）

- 福祉事務所設置自治体は、以下の事業を行うことができる。
 - ・ 就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から有期で実施する「就労準備支援事業」
 - ・ 住居のない生活困窮者に対して一定期間宿泊場所や衣食の提供等を行う「一時生活支援事業」
 - ・ 家計に関する相談、家計管理に関する指導、貸付のあっせん等を行う「家計相談支援事業」
 - ・ 生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」その他生活困窮者の自立の促進に必要な事業

3. 都道府県知事等による就労訓練事業（いわゆる「中間的就労」）の認定

- 都道府県知事、政令市長、中核市長は、事業者が、生活困窮者に対し、就労の機会の提供を行うとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う事業を実施する場合、その申請に基づき一定の基準に該当する事業であることを認定する。

4. 費用

- 自立相談支援事業、住居確保付金：国庫負担3／4
- 就労準備支援事業、一時生活支援事業：国庫補助2／3
- 家計相談支援事業、学習支援事業その他生活困窮者の自立の促進に必要な事業：国庫補助1／2

施行期日

平成27年4月1日





フードバンクかながわの事業

【法人が行う公益目的事業】

- (1) 食料の収集・配布を通じた、生活困窮者等への支援事業
- (2) 食品ロスの削減、フードバンク等に係る調査研究・啓発
・政策提言を目的とする事業
- (3) 地域社会における市民の相互扶助を増進することを目的
とする事業
- (4) 災害等の被災者に対する食料・生活物資等の支援事業
- (5) 勤労意欲ある生活困窮者等の就労支援を目的とする事業

19



寄贈者



企 業： 様々な理由で販売困難となった
賞味期間残2か月以上の食品を寄贈・提供
行政・企業： 災害備蓄品などの提供
個 人： 直送やフット'トライ'での寄贈
◆取扱い食品： アルコール類を除く「常温保管可能食品」及び
お米（精米・玄米・もち米・粗米）

フードバンク
かながわ



支援団体

◆寄贈品の入庫管理・在庫管理・提供団体毎に仕分け・出庫
管理(受渡・発送)
◆「食の支援を必要としている方々」を支援している団体や行
政・社協等に無償提供
◆団体への情報提供

提供食品の受渡し場所は、FB倉庫又は中継拠点まで
各団体から引取りにきていただきます。（送料着払も対応）
※直接、個人にはお渡しません。

20



フードバンクかながわのしくみ (イメージ図)



「もったいない」を 「分かれ合ひ」 ~「ありがとう」へ

21



おうちCO-OP相模原センター
相模原市中央区田名8301-1

おうちCO-OP海老名センター
海老名市上今泉5-27-45

生活クラブあやせ総合センター
綾瀬市吉岡東3-7-9

パルシステム平塚センター
平塚市小鍋島2108 ※2020年1月24日より

パルシステム麻生センター
川崎市麻生区王禅寺西5-2-14

おうちCO-OP横浜東部センター
横浜市鶴見区矢向1-1-47

おうちCO-OP横浜瀬谷センター
横浜市瀬谷区阿久和南4-3-10
※2020年1月24日より

フードバンク倉庫
金沢区富岡東2-4-45

おうちCO-OP藤沢センター
藤沢市石川1-5-11

おうちCO-OP小田原センター
小田原市前川1-3

フードバンクかながわ 食品受け渡し中継拠点

22



食品寄贈の流れ(手順)

(事前) 食品の提供・譲渡に関する合意書の締結

(1) 食品寄贈前の連絡調整

ご寄贈頂くにあたり、受入の可否(必要量)や運搬方法確認等を事前に連絡調整させていただきます。

(2) 寄贈申込書(データ)のご送付

ご寄贈頂く品名・数量等の確定後、寄贈申込書(Excelファイル)にJANコード、品名、規格、アレルゲン情報等をご入力いただき、メールにてご送付願います。頂いた商品情報をフードバンクの入出庫管理システムにデータ取込を行い、トレーサビリティ確保に努めますので、ご協力の程、お願ひ申し上げます。

(3) 食品の受け渡し

原則として、ご寄贈者様によりフードバンクかながわ倉庫(横浜市金沢区)まで、配送をお願いします。

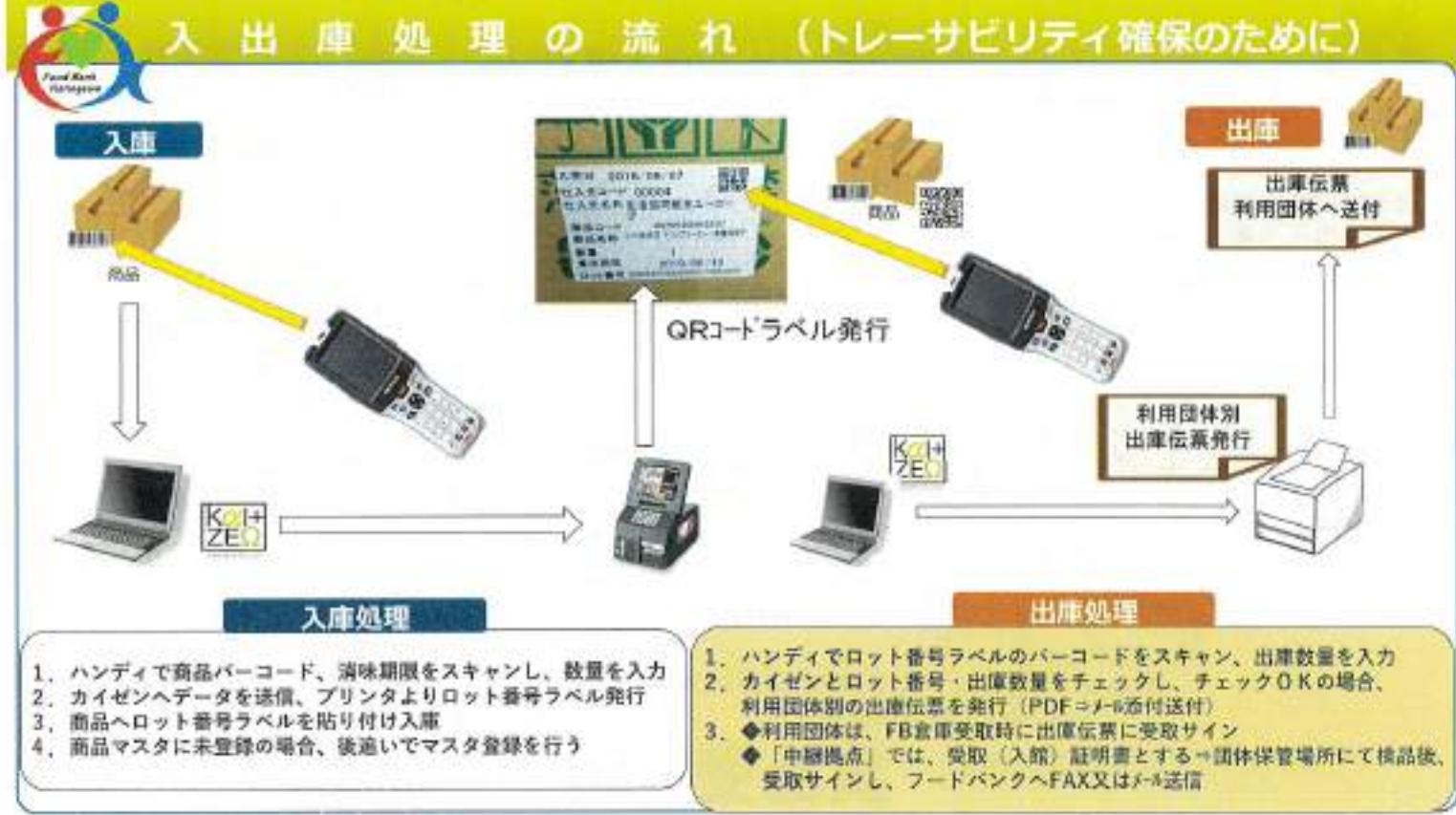
※2t以内で近隣の場合は、フードバンクかながわの小型トラックにて、引取も可能です(要相談)。

(4) ご寄贈食品の管理・分配

ご寄贈頂いた食品は、入出庫管理システムにて管理・保管し、行政や社会福祉協議会、支援団体に分配(出庫)します。支援団体等を通じて、食の支援が必要な方々にお渡します。

原則として、当法人から直接、個人にお渡しすることはしません。

入出庫処理の流れ (トレーサビリティ確保のために)





食品提供(利用団体登録)の流れ

(1) 「利用団体登録申請書」の提出

食品の受取を希望される団体は、登録申請書を提出。

(2) 現地調査

フードバンク事務局が現地を訪問し、食品の保管場所、管理方法、活動内容を確認の上、申請団体に利用登録の可否を連絡。

法人の事業推進委員会での承認後、以下の手続きを行う。

(3) 「食品の譲渡に関する合意書」の締結

(4) 「提供希望食品等アンケート」の提出

(5) 食品の提供開始

25

フードバンクかながわを利用するための団体要件

- ① 食品は、食の支援を必要としている方々を支える非営利団体又は行政機関であり、併せて、少なくとも月1回以上、支援活動等を実施していること。
- ② 提供食品が受取団体・施設等の収益事業に全量使用される場合は提供しません。
- ③ 当法人の倉庫または、指定する中継拠点(食品等受取所場所)までの受取運搬体制がある、または、宅配便等の送料負担(着払い)が可能な団体で、かつ、提供食品を安全に保管(ストック)すること。
- ④ 別紙の「利用団体登録申込書」を送付いただき事前確認の上、「合意書」締結後、食品分配を開始します。
- ⑤ 別紙の「提供食品利用報告書」(個人情報記載の必要はありません)を毎月、提出できること。
- ⑥ 地域フードバンク等で個人のほか団体等へも支援している場合は、在庫・入出庫管理ができ、記録していること。

*子ども食堂等の要件

上記の要件と併せて、食品を安全に保管できる場所があり、管理担当者を決めていること、衛生管理担当者を決めていることなどの要件(詳しくは利用案内書を参照)を満たす団体に限り、食品を分配します。

26



フードバンクかながわの現状

2020年12月15日現在

- 正会員団体 11団体: 305口 (1口5万円)

- ・贊助会員入会状況

- 団体会員 164(団体): 590口 (1口1万円)
- 個人会員 228名: 1,017口 (1口千円)

- ・寄付金(累計)

25団体41名 21,675,261円 (2020年度:10,301,818円)

- ・合意書締結状況

- 食品寄贈事業者 134社(団体)
- 食品受取(行政・社協) 49団体
- 食品受取団体 148団体

27

2018.4.1～2020.12.15の寄贈量と提供量

2018年度実績(4.1-3.31)

寄贈重量 = 46,394kg (286,391点)
提供重量 = 39,781kg (246,601点)

2019年度実績(4.1-3.31)

寄贈重量 = 96,968kg (276,805点)
提供重量 = 91,905kg (272,475点)

2020年度実績(4.1-12.15)

寄贈重量 = 144,858kg (553,149点)
提供重量 = 142,505kg (550,624点)



主な寄贈食品の内訳(2020.12.15現在)

	【2019年度4.1-3.31】	【2020年度4.1-12.15】
・個人寄贈(フードドライブ)	15,963kg	19,139kg
・防災備蓄品	21,654kg	24,430kg
・お米(精米、玄米、もち米)	21,950kg	27,908kg
2019 【ミツハシ7200、※生協11928、※フードドライブ2822】		
2020 【ミツハシ5100、※生協14872、※フードドライブ7936】	※学校給食関係はFDに含む	
・協同組合関係(FD含まず、米含む)	31,330kg	35,654kg
・その他の事業者	20,822kg	60,535kg

※重複掲載

29







J A 神奈川県中央会×三浦市農協×Food Bank Partners

青首大根2480本をフードバンクかながわを通じて、子ども食堂や地域フードバンク等に提供されました。



2020年3月～コロナ禍でのフードバンク活動

増える寄贈 食品ロス削減

一日入荷として最高の10.8トン
コカ・コーラ 飲み物 7.5トン
鎌倉紅谷 クルミっ子 3.3トン



ORION BOTTLES JAPAN INC.
News Release

～ふるさと納税感謝祭～
新規2日アライアンスの発表と共に、新規社員の誕生日として
本年2種類のフードバンク様へ光臨した旨は高野吉尚氏

（新規2日アライアンス）

（新規社員の誕生日）

（新規社員の誕生日）

コカ・コーラから飲料類、日本農産工業株から粥スープ



セブンイレブンから セブンプレミアムの提供

県社協を通じてセブンプレミアムから
様々な食品が寄贈されています。カルバ
ス、街詰43,200缶6トン以上を寄贈



販売期限・イベント中止等に による寄贈

農水省仲介

給食用の牛乳

休校により給食用牛乳が余剰となり、全農
はロングライフ牛乳200ml（賞味期限約2か
月）にして農水省経由で提供する。
5月半ばから取り組み予定。

機内提供品

飛行機の便数が減り、提供できない機内飲
み物・おつまみをデルタ航空が提供

イベント中止

合同会社rakusouより特別仕様の
ラムネ（飲料）7500本を寄贈。



マリーチョコレート



日牛乳



日本食研新焼きビーフン



かぼちゃのクロワッサン



ヨード粥スープ



バルサム用砂糖



日本食研 カレールー



ヤヨイヤエ



日本食研スープ

フードバンクかながわは 寄贈と提供マッチング

株ツケイ創業50周年記念
DAY・マリノス・フロンターレ戦
で配布予定だったお菓子(森永ハイチュー特別仕様)1万
個を寄贈。フードバンクかな
がわでは、今急増中の学生
支援、子ども支援に活用。



給食用お米 649kgの寄贈
開成町で2つの小学校で使
う予定の給食用米が余剰
となり、寄贈



鎌倉紅谷 追加寄贈 8t強
3850万円分の銘菓を寄贈。
コロナ重症感謝を24時間受け
入れる横浜市立医大病院に
1t分を贈呈
エレベーターがきしみ、管理
課から電話が…

鎌倉紅谷

新型コロナに立ち向かう医療従事者を応援する

医師・看護師をはじめとする医療従事者の方々を応援しようと、鎌倉紅谷から寄贈されたクルミっ子などのお菓子を病院へお届けし大
変喜ばれた。応援・感謝の気持ちはあっても県内の医療機関のどこに・誰に届けたらいいのかと悩むところ。フードバンクかながわの構成団体には、医療生協、JA協同病院、自治労などにつながりがありスピーディに取り組めた。

JA伊勢原協同病院/相模原協同病院/横浜市大病院/市大付属市民総合医療センター/川崎医療生協/神奈川みなみ医療生協/医療生協かな
がわ/神奈川北央医療生協/日本鋼管病院川崎/川崎市立病院(5/1)
の7710名の方々、6月には神奈川県立こども医療センターにも
感謝/応援の気持ちと併せてクルミっ子をお届けした。(延べ15100
名)



コロナ禍での フードバンクかながわと各支援団体の活動状況

よこすかなかながや

24時間365日の居場所をめざす和田信一さん
なかながやは(通常)平日朝食、週3回の夕食を提供

- ・ 2/28の休校要請ですぐに弁当配布に動く 学校長、教育委員会にかけあい、閉鎖中のコミュニティセンターの調理室の借用・子どもへの広報の協力を獲得
- ・ 3/6より最初20食からはじめ、5/1終了までに週5日2579食を作り続けた
- ・ 5/1よりコロナ感染者支援の買い物代行と居場所を実施



フードパントリーいろいろ(食品提供・配布)

① 捩点型1
パッケージで渡す
例NPO法人ちゃつと



こども食堂ができなくなり、増えたのが食品を袋詰めにして提供する形のパントリー。提供日・時間・場所を決め、つながりのある人々を中心に広報する。

1世帯2袋、近隣農家提供の野菜の袋もつくった。
こども全員に渡すお菓子も用意。



4年前から杉田キリスト教会で子ども食堂を開催。コロナ下でフードバンタリー活動を始めた。食堂参加者の電話番号を頼りに月1~3回、15~25世帯、40人から70人に届けている。コロナ下では孤立する家庭が増え、何かあつたら相談してくださいとの声かけを大切に訪問。困難な毎日を乗り切るための食品と絆をお届けしている。

② 訪問型
パッケージで届ける
キッズカフェ杉田

行政

学生支援1

- ・横須賀市福祉専門官北見万幸さんは市内の大学に通う学生がコロナ拡大防止により、アルバイト収入が絶たれる、親や兄弟の収入が減るなどで困難に陥っているのを知った。
- ・県立福祉保健大学の学生の3割が奨学金を受給している。
- ・自立支援制度の居住確保給付金従来は学生は非対象だったが、コロナ禍で、アルバイト学生や子どもを預けて働けない人にも適用になつたが、利用しにくい学生への支援施策の必要性に気づいたという。



朝日新聞デジタルより

学生支援2

- ・横浜市社協は苦境にたつ学生を食で支援する寄付を実施し、初日の22日は横浜市健康福祉総合センターで事前予約の170名がキャリーバッグなどを持参して受け取った。米、カレー、スープ、カップ麺、そばなどを200名分提供。
- ・六角橋町内会自治連合会との連携でも実施。



学生支援3

- ・相模原市はJA相模原市、地域のフードバンク・フードコムニティなどの市民団体と連携して、市内の学生を対象に、食品支援を開始、初日246名から4日目には500名に達した。それ以降も100名超が訪れる。フードバンクかながわからは毎週2回提供。野菜の提供もあり、学生からは継続を希望。7月については検討中。



穴学年向け
食材
又は
始めます

学生支援4

6月27日金沢区社協主催による学生への食品提供支援が行われた。予定人数は100名で大学からの一斉メールで情報提供したところ41分で満杯。7割が横浜市立大学生、3割が関東学院大学生。米1.5kg2袋、レトルト食品、缶詰、飲み物、菓子類などを持ち、事前にプラスチックバックに入れて手渡した。フードバンクかながわから1.4トンの食品を提供



関東学院大学4年生家賃は実家からの仕送り。生活費はバイトで稼いでいる。コロナでバイトがなくなり、その間は実家に援助してもらった。今は部活も始まり、生活費を稼ぐためにバイトを始めなければならない。就職は未だ決まっていない。



学生支援5 川崎市社協

- 新型コロナウイルスによるアルバイトの収入減などで生活苦に陥っている学生を支援しようと、川崎市社会福祉協議会が12月19日(土)、食料を無償提供する。会場はエホックなかはらで、10時から12時と、13時から15時の2部制。200人分
- 対象は、新型コロナの影響で生活に困っている市内在住または在学の主に一人暮らしの学生。地域の関係機関や企業などから寄附された白米やレトルト食品、缶詰などを1週間分ほど配布する。同日、福祉系のアルバイト紹介や、学生の悩みに直接答える相談窓口も設置。担当者は「友人や知人に情報を広めていただければ」と話す。
- タウンニュース中原web版 12/4



横浜市子ども青少年局/資源循環局 横浜市社協 川崎市社協

横浜市
ばくサボ（ひとり親世帯サポート事業
食品提供会）毎月市内各区で、ひと
り親世帯の方を対象とする食品の提
供会を実施。
提供会の実施日 時や提供を受けた
い方のお申込み方法などに関する情
報は、「横浜市母子寡婦福祉会」の
ホームページで



横浜市社協
「ヨコ寄付」200万円目標活用
新型コロナウイルス感染症対策の影響
等により食べる事に困っているひとり親家
庭の子どもを支える取り組み。子どもの
いるひとり親世帯で食の支援が必要な
方へ、7日分程度の食品と支援機関バ
ンフレット等を、宅配によりお届け。



ひとり親
支援

川崎市社協
食糧支援かわさき
支援機関がかかわっているコロナによ
り食支援を必要な人
関係機関から提供



ひとり親世帯への支援…障がい者の就労の 場をつくる

- フードバンクかながわが集めた食品は、港南区のそよ風南の家がセットして、主にシングルマザー世帯に社
協が届けます。
- 一つ一つにお手紙を入れます。



中でも米が足りない



生活クラブ生協は1000万円の基金を作り、山形産米25tと物流費を寄付。フードバンクかながわは7tの寄贈を受けた。



平塚市の山口農園さんはディズニーランドが閉園となり提供できなくなった県産米特Aはるみ300kgを寄贈



横須賀の松川さんはお米を持参



フードバンクかながわはミツハシライスさん・ユーロープさんからの定期提供を受けており、米の寄贈は豊富なフードバンク。

しかし、4月以降ニースが1.5から3倍となり、さすがに米が足りなくなつた。学校給食休止で余刺となつた米の提供、報道で不足を知りネットで購入して寄贈してくれた人もあり、ありがたかつた。



都筑区の林田さんは特別定額給付金の10万円×2でお米525kgを寄付

お米一合運動とJAの寄付

横浜労福協 チャリティゴルフ138kg チャリティフェスタ64kg
浜教組43kg 日産テクノ労組28kg 相模原労福協 川崎労福協…



強烈、無型コロナウイルスは通常より影響で「ひとの呼吸器」を感染させています。多くのシングルマザーの健康では、個人による運動を公認する「運動する心地が極端です。」
「おま一回運動」は、おま一回筋肉を運んでいたく運動です。
いたいたいおまは、「コードハンドルはなぜか」に運びます。
「この練習」の西脇に自分の頭と、身体や耳鼻喉科医師が、NPR



「おま一合運動」の参加方法

- ◎ 材料一覧リストを表示する「リスト」ボタンに入れてお使い下さい。
 - ◎ 取扱いの各書類は、各別紙にてご用意して下さい。
 - ◎ 「万能印鑑登録証明書」を提出して「フードバックが飛び」に提出します。
 - ◎ 「フードバックが飛び」は、ひとり親家庭を主な手元印・自印跡・印鑑印跡です。
 - ◎ おまけ、「印鑑登録証」、「フードバックが飛び」で両面使用するので、裏面も印字可能になります。

神奈川県内福島上アートパンチル企画は再開で祝祭を期のます

神戸市役所総務局税課課長課
2F 605 神戸市西区魚町1-4
おなじみの税理士アソブ
tEL 011-227-0280

会員登録法人カード発行申込窓口
2F 605 神戸市西区魚町2-4
tEL 011-318-5833

JAのお米



▲JAさがみ〇〇委員長とフードバンクの市川理事
新米含め280kg寄贈。 1月にフードドライブ予定



▲JA横浜女性部 360kg
・ 12月フードドライブと募金活動予定

コロナ禍でフードドライブは縮小化

- ユーチューブ 全80店舗で7月8月2か月実施
- パルシステム神奈川ゆめコープ センタごとに回収 6月から順次
- 生活クラブ 8月宅配便によるフードドライブ呼びかけ。デボは1週間実施
- ヨークドー18店舗で常設のボックスを設置。
- 金沢区役所実施。鶴見区役所、横浜市役所でもフードドライブ実施予定



2020年8月

8月18日現在
フードドライブの棚はカラカラになってきました。需要が供給をうわ回っています。



拡がるフードドライブ

- ・ヨーカドー 18店舗で常設
 - ・ユーノーブ 22店舗で常設
 - ・自治体の回収



横浜YMCAフットドライブ



崇浜市中区役所防災備蓄品



横浜市栄区役所フードドライブ



イオン金沢シーサイト店フットトライブ



イオン八景島店フードドライブ



横浜市港南区役所フードドライブ

2020.4.1-12.15 フードドライブ実績

ユーコープ	79店舗	4155kg
パルシステム神奈川		2018kg
生活クラブ生協		834kg
その他生協(富士フィルム・県連)		152kg
労働関係		1677kg
JA関係		1254kg
横浜市		560kg
横須賀市		330kg
藤沢市		58kg
神奈川県		13kg
イトーヨーカドー18店舗		2851kg
ヨークマート1店舗		32kg
イオン2店舗		41kg
その他の団体・企業		1591kg
個 人		3603kg

合計: 19,139kg

イトーヨーカドー洋光台店とイオン金沢八景店



9/8港南区役所

9/29資源循環局港南事務所

8/7.10横浜市立大学ボランティア支援室の呼びかけで、学生15名がフードドライブ寄贈食品の点検・仕分やお米の小分け袋詰め作業のお手伝いをしていただきました。



10/19 葉山町の山梨町長(写真上右側)が食品寄贈合意書と寄贈食品を持参板できました







JA湘南 フードドライブ



アセンチュアの防災バック寄贈



株式会社クラダシより うどん2000食寄贈



なかなかやさんマスクマンの子ども用マスクとクリスマスのお菓子



たすけあい純にクリスマスのお菓子、ランドセルも
「うれしい、どんなに喜ぶでしょう。感動しています」



養護施設鎌倉児童ホームと幸保児童園に





地域フードバンクの1つでもある「お福分けの会」(横浜市瀬谷区)では、ひとり親家庭を中心に約90世帯300名)に毎週食支援を行っています。

配布場所は現在12か所で、世帯構成にあわせて箱詰め、仕分け作業は、利用者のみなさんも一緒にっています。



65

ありがとう の 声

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中
にご飯がある状態になりました。子どもはそ
れがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて
確認しています。子どもの笑顔も見れるよう
になりました。ありがとうございました

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごは
んを持たせてあげられるようになりました。それま
では保健室に行ったりトイレに行ったりとしていた
そうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くよう
になりました。

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物
のレパートリーが増えました。子どもも毎回
「これ何?」と聞きながら食べています。学校
で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきた
ようです。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ていま
す。特に果物やお菓子などは買うこともできないの
でとてもありがたいとおもっています。

子どもに朝ご飯を食べさせることができ
るようになりました。それまでは朝は食べず
に、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

運動会の時にお弁当を作ってもらっていました。
いつもより多いおにぎりやおかずに子ども
達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごせ
ました。

ごはんを食べさせができるようになり、
子どもが少しですがふっくらとしてきて子ど
もらしくなってきました。とてもうれしい出来
事です。

66

ありがとうの声

- うちは中学生・高校生の育ち盛り食欲旺盛で食費がかかっていたので、とても感謝しております。感動して一人で泣いてしまいました。子供たちにはばれないように。自分が置かれている環境事実を改めて再確認しました。皆様に支えられているんだなあと思いました。（ひとり親世帯）
- 毎日働きながらの子育ても終盤に差し掛かり、手間はかからなくなりましたが、金銭面や自分が倒れたら困るなどの不安にさいなまれます。この支援が寄付によるものと知り、大変温かい気持ちになりました。（ひとり親世帯）
- コロナの影響で減給のうえ、シフトも減り先行き不安な中、今回の支援を知りました。昨今は母子家庭に対する風当たりも強く助けを求めることがはばかられていましたが、たすけてくださる方々がいるということがとても心強かったです。（ひとり親世帯）
- 仕事から帰ってきて、ご飯作らなきゃ。お米が減ってきてるな、と考えていた時にピンポンがなり、届きました。たくさんの食料、お菓子そしてメッセージの紙。すごく励まされました。このご時世ですが、頑張ろうと改めて感じました。
- 普段は買えないようなおいしそうなお米や、子どもが喜ぶおやつまで。大切に頂きたいと思います。レトルト食品もとても助かります。

学生からのありがとうの声

- アルバイトの時間も短縮され、お金がなく厳しい状況の中でこのような支援はとてもありがたいと思った。地域の方々に支えられて、学生生活を送っていることを忘れないようにしたいと思いました。
- 寄付祖下さり、ありがとうございました。学生のひとり暮らし活コロナの影響で、バイトが全然できていない状況でした。大切に食べさせて頂きます。
- 今回初めて参加して、ひとり暮らししなので、たくさんの食べ物を頂きとても助かりました。
とてもうれしかったです。次は自分が社会に貢献できるように頑張りたいと思います。



特集

新型コロナウイルス感染症拡大防止で地域でおこっていること 7

寄稿

「コロナ禍において、学校が果たした子どもの居場所・食支援」

学校

2020

「フードバンクに関する政策研究会」 第1回
神奈川県教職員組合書記長 島崎 直人さん

コロナ禍で、学校は、教師は、どう考え、対応したか。子ども支援に苦悩した学校現場を聞いた。



島崎直人さん

○神奈川県教職員組合は

神奈川県の公立小学校・中学校に勤務する・教員・職員の労働団体。

県内には公立小学校851、公立中学校407校があり、私立をあわせて小学生45万人、中学生22万人がいる。

○新型コロナ感染症拡大防止で3月2日(一部3日)より全国一斉に休校となり、給食、居場所などに急遽対応が必要となつた。

学校は目的外使用ができない

学校を目的外の居場所や食支援に活用するためには、学校設置者と国(※1)の許可、すなわち文科省・厚労省・農水省などからの通達が必要。見守り・スクールバス・給食等の人員確保、給食未利用食品(※2)の有効利用も堅難の課題となつた。

※1:建設に国庫補助金が入っている

※2:給食用として納入された食材は保護者負担で購入したもの

通達に始めてフードバンクが登場

3/13、文科省・厚労省から、ひとり親家庭及び生活困窮世帯に対する学習支援に食支援をセーフティネットとして加える。給食未利用食品の有効活用にフードバンクへの寄付を積極的取組とする、という通達が出て、学校機能の活用が一歩進んだ。学習支援と食支援を一体的に行うためには、教育委員会・福祉・農林・環境各部局との情報共有の必要性も記載された。通達に初めてフードバンクが登場したことは画期的だった。

学校をセーフティネットのプラットホーム機能に

コロナ禍が卒業・学期末の時期に発生したことで現場は混亂。教職員は子どもの生活維持に様々な制約に立ち向かった。学校では多くの子どもたちの「居場所」として機能を担うことになったが、「密になっている」「子どもの声がうるさい」等の苦情が寄せられることもあった。

地域に学校の情報が届いておらず、理解共感が得られていないことを実感した。学校から地域に対して情報を発信する職員の配置や、子どもを学校を含め地域全体で育てるという意識の向上がますます必要になる。学校と地域をつなぐスクールソーシャルワーカーの配置の充実など、コロナ禍の経験を生かすことが必要だ。



研究会の様子

拡がるパンツリーは伴走支援のツール

地域のお茶の間研究所さろんとて

早川 仁美

昨年10月から、始めたフードパンツリーの活動。コロナ禍でたくさん問い合わせや、市からの紹介があり、始めておいてよかったですと実感しています。

22号に書いてくださったように、さまざまな背景の方が利用されています。コロナで職を失った方は、食品を申し訳なさそうに、でも、やっとお腹いっぱい食べられる喜んでくださいました。また、ある方は「わーお米だ!」と歓声をあげました。頼る先も無くやっと私たちの活動にたどり着いたのだなと思いました。ある若者は、所持金が数百円となりまともに食べていない様子で、お弁当を渡すと初めて笑ってくれました。パンツリーで支援するお米はまさに命綱です。

しかし、コロナ感染拡大の収束が見えない中、フードパンツリーの需要が高まり、発注しても欲しい量のお米や食品が手に入らなくなりました。だから、いろんな助成金を申請し、足りない分を購入して利用者さんにお渡ししています。

食品をただ渡すのではなく、お話を聞きながら関係機関や制度に繋ぎ、その方が次の仕事を見つけ、生活が再建できるまで、パンツリーというささやかな活動を通して伴走しています。



■ 取材に行ってきました ■

追加情報

さろんとては、茅ヶ崎で居場所・子ども食堂を行う。もともと高齢者ケアや保育に携わる人々が参加型で民主的な運営をするアソシエーション。行政・社協の相談窓口やケースワーカーなどから、紹介されたり、直接相談に来た人に予約で食品をお渡しする。困窮世帯15、ひとり親世帯40の55世帯が登録し、1か月に1度、4回に分けてパンツリーを開催。

教会のご厚意で、倉庫と仕分け場所を借りることができ、各種の助成金を活用し、冷凍冷蔵庫やクレートを購入。

ただ食品を渡すだけではなく、渡しながら聞き取りを行い、地域の団体や制度にもつないでいるが、日々これでいいのだろうかと、悩みながらやっているという。



仕分けは8人分の



コストコからパン

予告 第2回 フードパンツリーといい活動 講師 早川仁美さん

お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわinfo@fb-kanagawa.com

236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45 発行責任:藤田誠

Tel 045-349-5803



基本情報 2020年度の累計 (2020/9/30現在)

寄贈された食品	106.6トン	提供した食品	1170回 103.9トン
企業等	213回 94.6トン	行政・社協	293回 23.7トン
フードドライブ	347回 12.0トン	地域のフードバンク	191回 31.4トン
		こども食堂等	465回 31.5トン
		自立支援施設	39回 1.9トン
		福祉・病院関係	182回 15.0トン
		調整	0.4トン

(2019年度実績 寄贈 97トン・提供 92トン)

9月の状況 9/1~9/30 寄贈15.5トン 提供14.1トン

【寄贈食品】15.5トン
事業者 12.5トン31回
フードドライブ 3トン412回

8月は寄贈 6.4トン
提供10.2トン

寄贈 メイトー福岡乳業からミルクde水素19,200個、コカ・コーラからコーラ・紅茶花伝3,240本、防災ビスケットやアルファ米も。

フードドライブ ユーコープ924kg、生活クラブ535kg、バルシシステム神奈川381kg、ヨーカドー622kg、個人495kg、神奈川県赤い手根共同募金会150kg、横浜銀行、富士フィルム、JA、JP労組、ワーカーズコレクティブからも寄贈。



- ①ミルクde水素
- ②シールを添付し出荷
- ③県環境農政局
- ④港南区役所
- ⑤自治労県本部
- 3団体のフードドライブ。



提供 相模原市の学生支援が継続となり771kgを提供。

地域のフードバンクでは、〈お福分けの会〉966kg、新規の〈浜っ子南〉408kg、カフェドフクシマ1235kg。

こども・地域食堂は、フードバンクトリー活動団体で増加。〈ちゃっ〉と338g、〈金沢すくすぐ〉363kg、〈満福うえのまち食堂〉214kg、〈ふれあいっ子三ツ沢〉211kgなどが多い。

横浜市は21年3月まで週240の取り組み支援を〈母子寡婦社会〉に委託し食品は「フードバンクかながわから提供1,112kg、無料低額宿泊施設等を運営する〈命を守るネットワーク〉571kg等の利用。

食品ロス削減コースターデザイン募集

募集期間 2020年11月1日～2021年1月31日

日本の「食品ロス」は、年間643万トンも発生しており、これを日本人一人あたりに換算すると、毎日お茶碗一杯分を捨てていることになります。大切な食べ物を残さずに食べきり、食べ残しをしないことで環境にやさしい街をつくりましょう。

★一般・中高生・小学生の3部門

★入選者にはクオカード進呈

一般 最優秀賞1名1万円、優秀賞2名5000円

中高生 最優秀賞1名5000円、優秀賞2名2000円

小学生 最優秀賞1名5000円、優秀賞2名2000円

★優秀賞の3名のデザインでコースター作成

★応募資格はフードバンクかながわ加盟団体の組合員、職員、家族など



詳細はHPで



合意書締結団体

寄贈締結団体 123団体
提供締結団体 190団体
行政・社協 49団体
市民団体 141団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)

賛助会員寄付状況

団体会員 154団体 540口
540万円
個人会員 227人 1016口
1016千円
2020年寄付金
4,186,298円
寄付累計 15,830,371円

メッセージ

事業推進委員

三枝 みさ子さん

(生活協同組合ユーコープ
組合員参加推進部部長)



毎年8月、生活協同組合ユーコープの全店舗では「夏季のフードドライブ」に取り組み、組合員にも徐々に浸透してきています。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、暮らしへの影響が深刻化する中で、本年は複数の組合員より「コロナ禍で困っている人が増えている、取り組み期間を長くしてほしい」との要望をいただきました。そこで急ぎよ、フードドライブのスタートを前倒しして7月より2か月間実施することとし、来店の組合員に、家で眠る食品の提供を呼びかけました。その結果、神奈川県内の全79店舗および関連会社などからフードバンクかながわへ寄贈できた食品は、昨年の1.8倍にもなりました。さらにJAさがみ様が取り組まれたフードドライブ品をユーコープ湘南台がお預かりし、フードバンクかながわへ届けるという、新たなつながりも生まれました。今後も地域の方々や諸団体の皆さんと手を取りながら、暮らしを支え合う活動をともに進めていきたいと思います。



ヨーカドー18店舗で フードドライブボックス常設

大手スーパー「ヨーカドー」は神奈川県全店と東京の一部店舗でのフードドライブを開始。常設ボックスを設置し、寄付された食品はフードバンクかながわに提供される。

毎週火曜日に横浜青果センターに集められ1か月で1トンを超える勢い。

常設ボックス設置店

相模原店/藤沢店/洋光台店/たまプラーザ店/桂台店/桐島店/若葉台店/上永谷店/伊勢原店/古淵店/鶴見店/南大沢店/能見台店/横浜別所店/湘南台店/坪島店/東大和店/アリオ横浜店



ヨーカドーのほかに、ユーコープ、自治体でも食品寄付ができる常設ボックスを設置しています。フードバンクホームページで紹介しています。

上:別所店 下:寄贈食品



「もつたいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ

特集

新型コロナウイルス感染症拡大防止で地域でおこっていること 8 ~市民活動を応援する協同のひろがり~

寄付と助成で応援 ユーコープ×市民基金

ユーコープ新型コロナ対応緊急応援成

理事 大石 高久(公財かながわ生き活き市民基金・専務理事)

緊急事態宣言下にあった5月下旬、生活協同組合ユーコープから市民基金に1本の電話がありました。「6月下旬から組合員に呼びかける新型コロナ緊急支援募金を市民基金に寄付したい」。市民基金は4月に新型コロナ緊急応援成(助成と略)を始め、5月に29団体に助成。電話のあった5月下旬は第2次助成の選考の真っ最中で、寄付の申し出はとてもありがたい話でした。その後使い途について協議し、募金の一部を第2次助成の原資として活用すると共に、500万円を原資にオーダーメイド助成「ユーコープ新型コロナ緊急応援成」(第3次)を立ち上げ、9月上旬募集を始めました。オーダーメイド助成とは寄付者が用途を指定できる助成プログラムです。寄付者を代表してユーコープ理事の里見里奈さんが選考委員会に参加、9月29日午前10時から休憩なしの3時間に及ぶ選考会議を経て、64団体への助成を決定しました。

フードバンクかながわは提携する市民団体に助成情報を提供するなど連携を強め、64団体中20団体がフードバンクかながわと提携合意書を取り交わす団体でした。生活協同組合ユーコープを真ん中に、フードバンク(食品で支援)と市民基金(助成で支援)がしっかりとタッグを組むことができました。12月には生活クラブ生活協同組合の組合員寄付を原資に、第4次助成に取り組む予定です。

※助成団体一覧 <https://lively-citizens-fund.org/archives/3050>

選考に参加して

生活協同組合ユーコープ 理事
里見 里奈さん

生活協同組合ユーコープは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により深刻化が懸念される生活困窮者を支援するための「新型コロナウイルス緊急支援募金」に取り組みました。

神奈川県ではかながわ生き活き市民基金の「新型コロナ緊急応援成(第1次)」の趣旨に賛同し、寄付をしていましたこともあり、新型コロナ緊急応援成(第2次)のご紹介をし寄付を募ることにしました。

結果、多くの組合員の皆さんにご協力いただき、多額の募金が集まりました。募金の一部を緊急応援成(第2次)に寄付することができました。また「ユーコープ新型コロナ緊急応援成」をかながわ生き活き基金の皆さんと共に、助成総額500万円64団体へ助成することができました。選考にあたり、地域食堂や居場所づくり・学習支援など、地域の暮らしを支える団体の皆様の活動内容・課題などが申請書類から伝わってきました。新しい生活様式の中で継続して活動するために必要な資材購入の中請など、コロナ禍の今、新たな活動方法を考えながら一步ずつ踏み出している印象を受けました。今回、ユーコープの役職員や活動リーダー層の紹介から申請に至った団体もあり、市民基金やフードバンクとの「つながり」づくりができたことも嬉しく思っています。誰もが安心して暮らし続けられる社会の実現がユーコープの願いであります。これからも地域社会の支援に役立つ取り組みを続けてまいります。

選考委員会 右が里見さん

米1合寄付で応援 労働組合×フードバンク

米1合運動展開中

理事 市川 敏行(神奈川県労働者福祉協議会・事務局長)

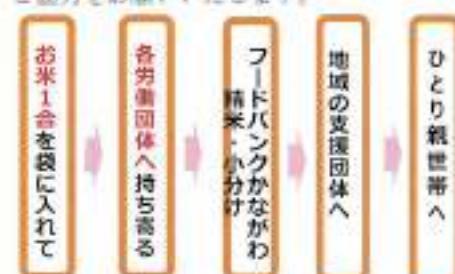
「お米が足りない!」今年7月「フードバンクかながわ」に訪れた際、藤田事務局長の言葉に驚きました。お米の寄贈は昨年の2倍、なぜ不足しているのか。新型コロナウイルス感染症の拡大が想像以上に生活環境を一変させ、学生やひとり親世帯の生活を直撃していました。

これまで懇切に働いて家族を養ってきた、ひとり親世帯の支援に行政や社会福祉協議会が動き始めたと同時に、「フードバンクかながわ」は食品の提供にフル活動していました。藤田事務局長は「あらゆる事業者・団体に支援をお願いする」と厳しい表情です。それに対し神奈川県労働組合は「お米一合運動」を展開することにしました。

「お米一合運動」は、家庭にある「一合」のお米をビニール袋に入れて無償で提供をいただく運動です。運動に協力をいただいた連合神奈川は35万人を結集するナショナルセンター(労働組合)のスケールメリット生かして神奈川県に暮らす人々の生活をサポートし、「共助の輪」の役割を發揮したいと力強く応えていただきました。

10月1日からスタートした「お米一合運動」は、連合神奈川から神奈川県内の労働組合に情報が届けられ、組合員一人ひとりに「お米一合」の寄贈をお願いしています。10月20日現在108kgが贈られ、現在も多くの方々が受けています。

「お米一合運動」は、2021年3月末まで実施しています。皆さまのご協力をお願いいたします。



寄付で応援 市民・団体×フードバンク

2020年度寄付金累計476万3428円に

コロナ禍で定期特別給付金を寄付したいという声が多く、10万円以上の寄付8名計100万円、20万円をお米に変えて寄付された方もあった。ユーコープ組合員募金は243万3434円を寄付。米や備蓄品寄付も増えた。

- ①給付金寄付の手紙「パート先は休業中も保障してくれたので給付金は寄付します」と書かれている
- ②ユーコープ募金の感謝状を贈呈、古坂代表理事
- ③藤山町町長と當兵代表理事・災害備蓄品寄付
- ④横浜銀行本店のフードドライブ



お問い合わせ

基本情報 2020年度の累計 (2020/10/31現在)

寄贈された食品124.3トン

企業等 251回 110.2トン
フードドライブ 397回 14.1トン

提供した食品 1420回 117.4トン

行政・社協 335回 25.5トン
地域のフードバンク 222回 34.0トン
こども食堂等 559回 37.3トン
自立支援施設 47回 2.4トン
福祉・病院関係 227回 17.8トン
調整 0.4トン

(2019年実績間実績 寄贈97トン・提供92トン)

10月の状況 10/1~10/31 寄贈17.7トン 提供13.5トン

[寄贈食品]17.7トン

事業者 15.6トン 38回
フードドライブ 2.1トン 48回

9月は寄贈 15.5トン
提供 14.1トン

寄贈 17.7トン(敬称略)

事業者 15.6トン

[提供食品]13.5トン

行政・社協 1.8トン 28団体 41回
地域のフードバンク 2.7トン 16団体 31回
こども食堂・居場所 5.8トン 52団体 94回
施設関係 0.4トン 5団体 8回
福祉病院関係 2.8トン 28団体 45回



広研よりペーパート130kg、ブランティア物産よりチョコレート165kg、ユーコープより飲料4トン、日生協コーヒー、フレッシュ166kgほか寄贈コロナ禍を要因とする事業者からの提供は落ち着いてきた。

①ペーパートは、年間200万トン以上廃棄される規格外野外葉を寒天のみで加工した春巻きの皮のようなシート。化粧調味料、合成着色料不使用で野菜の栄養分が凝縮されており食品ロス削減にも貢献。

もったいないから生まれた食材。

防災備蓄品: 李道山60kg、雲山57kg、アクセンチュア3トン、富士電機800kg、小田原ガス745kg等の寄付。

フードドライブ 2.1トン

10月有様人から毎日のようにフードバンクかながわへの食品の寄贈があり28件460kg。平塚市のヨークマート北金目店でフードドライブ開催。初回は32kg。JP労組西支那から25kg、連合神奈川から180kg、米1合運動会ははじめ0.81kgが米、全水道神奈川県支那から50kgの米の寄贈。21年3月までの6ヵ月間寄贈予定。昨年に続きタニタフィットミー井土ヶ谷店から95kg、自治労県本部27kg、UAゼンセン20kgなど。

提供 13.5トン

横浜市・横浜市母子寡婦福祉会、地域のフードバンク、子ども食堂からフードバンチリーに移行した団体が、ひとり親支援に力を入れており、その結果食品提供量が増大。相模原市は引き続き学生支援を継続。飲料や鍋スープ等。毎週まとまった量の食品を提供。新規の食品提供団体としてフードバンチリーの「スペースナナ」、生活困窮のこども支援の「つるみ元気塾」、横浜朝鮮初級学校、厚木市への食品の提供を開始。米の提供は10月も増え3.1トンとなり、1月に比べ約2倍の提供量。

●いま、こども・地域食堂は...



地域食堂「みんなでごはん」(金沢区)は10/24予約制でお弁当配布。お手分け(食品配布)も。

金沢こども食堂すくすくの「ホットサロンすくすく」開催(ひとり親家族食料支援)10/25

始まりました

食品ロス削減コースターデザイン募集 募集期間 2020年11月1日～2021年1月31日

★一般・中高生・小学生の3部門
★入選者にはクオカード進呈

一般 最優秀賞1名1万円、優秀賞2名5000円
中高生 最優秀賞1名5000円、優秀賞2名2000円

詳細はHPで



合意書締結団体

寄贈紹結団体 130団体
提供紹結団体 192団体
行政・社協 49団体
市民団体 143団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)

賛助会員寄付状況

団体会員 161団体 576口
576万円
個人会員 228人 1017口
1017千円
2020年寄付金
4,763,428円
寄付累計 16,136,871円

メッセージ

檜垣 明宏 理事・事業推進委員

(かながわ勤労者ボランティアネットワーク
常務理事・事務局長)



Go To トラベル・Go To イートが始まり、週末は行楽地を中心に各地で渋滞が発生し、人気店の店先には行列ができるなど、街には少しづつ活気が戻ってきてているように見えます。しかし、いつまた急速な感染拡大がおこるのかと不安を抱えながらの日常ですが、しっかりと感染対策を行ったうえで活動の範囲を広げていく工夫が求められています。先日、私たちVネットでも県労福協と協力して久しぶりにフードドライブを実施しました。今年は「お米一合運動」への協力を依頼している事もあり、提供者からは「お米がいいんだよね」とのお声がけもいただきました。結果はお米が約81kg、純重量:約180kgとなりました。

「フードバンクかながわ」が取り組んでいる「フードドライブ」「フードロス削減」「フードバンチリー」など食にかかわる様々な活動は着実に広がりつつあります。この運動をさらに広め定着させていくため、Vネットでは引き続き賛助会員を増やす活動を進めていきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

食品ロス削減に寄与するフードバンク活動検討会

2020年11月27日 フードバンクかながわ倉庫/事務所

コロナ禍での食支援にも貢献したフードバンク活動。

<行政の政策>×<企業の提供・フードドライブ><福祉の利用>によりフードバンクできらに食品ロス削減をめざす。

ご出席: 神奈川県・横浜市・川崎市・町田市・三菱食品㈱・神イトヨーカドー・山崎製パン㈱・日本生協連・食品ロス削減推進委員・横浜市母子寡婦福祉会・横浜市社協・報道食品支援センター・フードコムニティ・フードバンク浜っ子南の皆様

・コロナ感染防止のため、参加を制限して開催します。

フード
ドライブ



フードドライブポイント 常設場所はHPに掲載

NEW

●藤沢市役所 本庁舎 8階
開庁日: 08:30-17:15
月曜の1週間

11/2~6 12/7~11 1/4~8

●富士ファミリーマート 11/9~27
藤沢センター南足柄 入口
足柄センター入り口



助成会

赤い羽根共同募金

新型コロナ福祉活動応援フードバンク活動等応援助成から99万円の助成を受け、coopレトルトカレー1,1万個を購入!

レトルトカレー1,1万個



フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を 「分かち合い」「ありがとう」へ



25号

特集

新型コロナウィルス感染症拡大防止で地域でおこっていること 9

フードドライブ(市民の寄付)
ありがとうございます!

WE21ジャパン

世界食料デー・世界貧困デーキャンペーンに合わせて

「世界食料デー」
月間 2020
10/1 □ ~ 10/31

みんなで
食べる
幸せを



認定NPO法人WE21ジャパンは10月16日世界食料デー、17日世界貧困デーを中心に、世界と私のつながり、私たちが普段の生活でできることを考えるキャンペーンに合わせ、11店舗でフードドライブを実施(10月1日～31日)。集まった食品は272kg。米、カップ麺、缶詰類、お菓子などフードバンクかながわに集め、地域の子ども食堂・フードバンク・社協を通じて、シングルマザー世帯等に提供した。コロナ禍での食品配布が大変喜ばれた。



ありがとう



フードドライブ色々

中学生・高校生の育ち盛り食欲旺盛で食費がかかっていたので、とても感謝しております。感謝して一人で泣いてしまいました。子供たちにばれないように、皆様に支えられているんだなあと思いました。

クリスマスのお菓子も

ホームページの呼びかけで、クリスマスのお菓子が集まっている。JAのマスクサンタさんからも大小の手作りマスク178枚とクリスマス用のお菓子、ボランティアさんからも、HPみたよという方からもお菓子が届きました。



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com

236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45

Tel 045-349-5803

米一合運動

全水道神奈川県支部は
社会貢献活動として
米50kgを6か月間毎月提供



寄稿

理解と共感を広げたい!

~米50キロを6か月間寄贈~

全水道神奈川 執行委員長 的場 信也

全水道神奈川は本年度の定期大会において頻発している自然災害への支援について議論し、新型コロナウィルス感染症の拡大の影響も含め社会貢献事業などに幅を広げた総括をしてきました。なかでも連合神奈川から県労福協との「米一合運動」の取り組みを求められ、身近な活動としてこのような支え合い助け合いの運動がこれから社会貢献活動の活性化につながるものと懇意会議で確認しました。神奈川県支部の組織構成も若干層が増え財政的に大変厳しい状況で経費を節減し活動を創約されているなか、組織力や活動をより広げる取り組みとして推進していくこととしました。

今、私たちの生活はもとより、コロナ禍により引き起こされた雇用・経済の問題は各種商業店舗の収益減の矛先としてもアルバイトを含め雇用の打切りや唯一の収入先を失うひとり親世帯や多くの学生にまで広範囲に影響を及ぼしていると聞き及んでいます。加えて『フードバンクかながわ』は昨年の2倍以上のコメの寄贈を受けているとのことです、これを上回るコメの需要があると報告されています。私たちとしては食困窮者へ少しでも食支援の一助になればとの考え方のもと、10月から来年の3月まで毎月50キロのコメを寄贈し、この運動に理解や共感を広げられるようできうる限り協力していきたいと考えています。

米一合運動・続々

11月だけ
横浜労福協
チャリティゴルフ138kg
横浜労福協福祉
チャリティフェスタ64kg
兵教組43kg
日産テクノ労組28kg
相模原労福協、川崎労
福協等、続々集まっています



JAのお米



▲JAさがみ理事長とフードバンクの
市川理事 新米合の280kg寄贈。
1月にフードドライブ予定



▲JA横浜女性部 360kg
12月フードドライブと募
金活動予定



基本情報 2020年度の累計 (2020/11/30現在)

寄贈された食品	738回	133.2トン	提供した食品	1569回	130.0トン
企業等	279回	116.0トン	行政・社協	386回	27.4トン
フードドライブ	459回	17.2トン	地域のフードバンク	249回	37.8トン
			こども食堂等	627回	41.8トン
			自立支援施設	54回	2.6トン
			福祉・病院関係	253回	20.1トン
			調整		0.3トン

10月は寄贈 17.7トン
提供 13.5トン

(2019年度実績 寄贈 97トン・提供 92トン)

11月の状況 11/1~11/30 寄贈8.9トン 提供12.5トン

【寄贈食品】8.9トン 【提供食品】12.6トン

事業者	5.7トン 回	行政・社協	1.8トン 29団体 50回
フードドライブ	3.2トン 回	地域のフードバンク	3.8トン 14団体 27回
		こども食堂・居場所	4.4トン 52団体 66回
		施設関係	0.2トン 5団体 7回
		福祉病院関係	2.3トン 20団体 17回

寄贈

経済活動が再開され、企業からの食品寄贈が減っている。11月は、企業寄贈は2社でクラシルから常温保存の生うどん2000個、日生機からゼリーの寄贈。防災備蓄品が多く、アルファ米(わかめごはん、牛めし、ドライカレー、チキンライス、炒飯、山菜おこわ等)やパン缶が、日新産業、東京海上日動、東芝、明治大学、中区役所からあった。ユーロープからのお米とキャンセル品、ミツハシライスからの米は継続。それぞれありがとうございます。

フードドライブ 62回 3.2トンkg

フードドライブでは、毎日のように食品が送られており、26件864個238kg。連合労福協の米1合運動の呼びかけで米寄贈が伸びている。横浜労福協183kg、西瀬労福協53kg、横浜労福協福祉フェスタ133kg等。WE21ジャパンの11ショップから272kg、生活クラブ組合員地域組織から54kgの寄贈。

提供 120団体 167回

横浜市・横浜市母子寡婦福祉会や地域のフードバンク、子ども食堂からフードバンチャーに移行した団体が一人親支援に力を入れており、食品提供量が増大。相模原市は引き続き学生支援を継続しており飲料や調理スープ等、毎週まとめて量の食品を提供。提供量が寄贈量を大幅に上回った。12月は各自治体・社協での生活困窮者支援活動が増えるので、提供食品の逼迫が懸念される。

米は3.6トン提供
1月の2.4倍

年越しへうどん!

横ヶ崎市より提供のうどんは、年末を持たずに終了。



『フードバンクに関する政策研究会』第2回11月4日

「コロナ禍で増えるフードバンチャーの役割」をテーマに茅ヶ崎の「地域のお茶の間研究所さるんど」の早川仁美さんが講演。

コロナにより夫婦で職を失った人が、徒歩で遠くからケースを持って取りに来られ、こんなにもらっていいのかと感激された。休校中ご飯を毎日作るので使う食品が増えたとシングルマザー。いまはwithコロナになり、若者のニーズは特に増えている等の事例報告。

茅ヶ崎市や社協の窓口では緊張する人も、食を扶んでの対話では心を開きやすく、より適切な支援に結びつけやすい。伴走支援に必要なスキルを身に着ける傾聴講座を実施し、卒業生数十人は地域で活動しているという。自立支援の窓口に来た人等で食支援要請のある人に渡しているが、福祉支援課・子育て支援課などの窓口での案内チラシ配布にまでは連携できていないなどの課題もあり、政策提言の必要性が明らかになった。



合意書締結団体

寄贈締結団体	134団体
提供締結団体	196団体
行政・社協	49団体
市民団体	147団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)	

賛助会員寄付状況

団体会員	163団体	588口
		588万円
個人会員	228人	1017口
		1017千円
2020年寄付金		
		5,064,818円
寄付累計		16,438,261円

メッセージ

土橋 亮太 事業推進委員

(中央労働金庫神奈川県本部 次長)



新型コロナウイルス感染症の第3波による感染拡大が続いているが、我々の社会生活に大きな影響が出ないことは、また一日も早くワクチン投与が開始され終息することを願うばかりです。

さて、中央労働金庫では、これまで「たすけ合い」の精神のもとで共感の輪を広げ、はたらく人の生涯にわたる安心・安全な生活をサポートし、「共生社会」の実現にむけて様々な社会的課題の解決に寄与する活動をしてまいりました。

フードバンクかながわの活動においても「食」の支援を通じ多くの人の生活を助け、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することができると感じております。コロナ禍における今こそ、協力団体間のネットワークのもと、連携を強めフードバンク活動の輪を広げていきたいと思います。今後もよろしくお願いします

大学生のNPOインターンシップ、高校生の大学受験のためのレポート提出等での研修の受け入れが増加

た大学に無事合格・NPO体験の東海大学生



浜教組 研修

横浜市教職員組合9名の皆さんがフードバンクで研修と仕分け・米小袋詰めを体験。柳井委員長は、まず教員からフードバンクを知り、子どもたちに伝え、フードドライブや米一合運動を呼び掛ける基礎を作っていくことを挨拶。市内500校でフードドライブを実施した場合の搬送を課題としてあげた。

(事務局長手作りのコロナ対策バーテーション大活躍)



コロナに負けるな!

「大切なのは人を思いやる心」

横浜市教職員組合はコロナ感染者へのパッケージをなくす啓発パッケージを作成し配布中。市教職員組合事務局まで。045-231-6231

コロナに負けるな! キャンペーン



「季刊誌 横濱」連載の『横濱の底力』

執筆者で作家の山崎洋子さんがフードバンクかながわを取材。